



[ 男女共同参画社会の実現をめざす情報誌 ]

さんかくウィーク 2005

祝 さんかく岡山  
5周年

みんな、おいでよ!さんかく岡山へ!!

OKAYAMA

2005.9

vol. 29

DUO

[ デュオ ]

特集

話し合っていますか?

仕事

介護

育児



岡山市

## 話し合っていますか？



曾我哲之さん・曾我陽子さん

9年間勤めた会社を退職して理学療法士を目指す夫と、一家の大黒柱になった妻。30代での人生の転換をどのように選択したのでしょうか？



## 自分が本当にしたかったこと

哲之さんと陽子さんは土木系の同じ会社に勤めていました。ここ数年、不況のあおりを受けて、人員削減や給料減など職場環境が厳しくなっていたため、お互いの将来について、じっくり話し合うようになりました。あれこれ模索するうちに「自分が本当にしたかったことを思い出した」と哲之さんは言います。理学療法士、それは、かつてあきらめた資格でした。



理学療法士の資格をとるには、3年間は学校に通う必要があり、仕事を辞めざるを得ません。その間の生活費を妻の給料のみでやりくりしなければならぬうえ、学費も高額なので、この話を夫から聞いたとき、陽子さんは「頑張ってほしいけど、自分が養うなんて無理だ」と言いました。応援したい気持ちはあったけれど、経済的に大丈夫かなという気持ちも大きくて、自分が大黒柱になることに、プレッシャーがありました。将来を考えると、このまま2人ともが同じ所に勤め続けることは最善でない、とわかってはいたけれど、給料額を知っている同僚からは「絶対無理よ!」と言われたし、決断にはしばらく時間がかかりました。そうこうするうちに会社でリストラ発表があり、危機感を感じた二人は、生活に必要な金額をリストラアップし、給料額と比べながら「贅沢しなければ、なんとかなるかな」と決断しました。実際に走り出してみても、案外これは出来なくもないと陽子さんは思ったそうです。

## 周囲の理解やサポートに助けられた

現在、哲之さんは学生をしながらの主夫。共働きの時は、ゴミ出し・布団敷き・子どもの風呂入れ程度しかしていなかったのが、今ではそれに加え、夕食の準備・洗濯などもこなしています。はじめは家のどこに何があるのかさえ分からず、妻に教えてもらいながら洗濯機の使い方やご飯の炊き方を覚えたと言います。陽子さんも朝食の準備・弁当作り・掃除・皿洗いなどはしていますが、リストラで、一人当たりの仕事量が増えて帰りが遅くなった今、家事の心配をしながら家に着くと食事や洗濯ができていますので、つくづくありがたいと思っています。また、この決断には両親も協力的で、時には子どもをみてくれたり副菜を届けてくれたりと、二人をサポートしてくれているのだそうです。

## 立場が代わって知ったこと、得たこと

共働きの頃と一転して、妻は帰宅時間が遅くなって、子どもと触れ合えない寂しさを実感し、夫は毎日の家事の大変さがわかり、以前にも増してお互いが相手のことを思いやることができるようになった曾我さん夫妻。「生活が大きく変わって忙しく大変な日々を送っているけど、精神的には余裕ができました。3年後はどうなっているかわからないですけど」と話す二人の表情は、互いが協力して切り開いた未来への確かな手ごたえを感じているように見えました。



あなたは、人生の分岐点での選択を、

どのようにしてきましたか？

納得のいく選択はできていましたか？

今号では、仕事や家事・育児、介護の場面で、  
分岐点にたたされた3組の夫婦がとった選択に  
焦点をあててみました。

あなたなら、このような場面で、どんな選択をしますか？

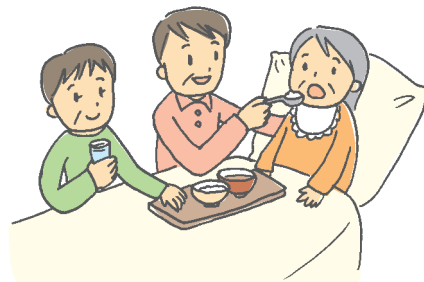
介護を担っている人の多くは女性です。そんな中であって、介護休業を取り介護の中心となったのは共働き夫妻の夫、久雄さんです。その選択の理由や介護のようすは？



大森保子さん・大森久雄さん

### しっかり者の母親が突然の入院

大森さん夫妻は、久雄さんの両親と同居生活を送っていました。夫妻は共働きということもあって、母親はすすんで台所にたち、子どもが小さかった時には育児、父親が入院してからは介護と、積極的に家のことを担っていました。そんな母親が、時々おかしなことを口にしたり、平らな場所でも転んだりするようになって、少し心配していた矢先に脳梗塞と診断され、入院しなければならなくなりました。



### よし、介護休業をとろう

久雄さんには姉妹が3人いるので、姉妹とも協力して介護をすることにしましたが、姉妹の家は遠いこともあり、現実的には夫妻のどちらかが仕事を離れ、介護の中心になることが必要でした。末期ガンでほとんど意識のなかった父と違い、母に必要なのは、食事の補助、服の着替え、話し相手になることなどの身の回りの世話。久雄さんの頭に浮かんだのは「介護休業」でした。勤務先で介護休業取得の前例はなかったけれど、身の回りの世話ならできるだろうと思い、久雄さんは自分が介護休業を取ると妻に伝えました。しかし保子さんは、自分が仕事を続けることに、ためらいがありました。「母親は戦時中に苦労しながら自分を育ててくれ、これまでも家のことを本当によくしてくれた、だから看たい」と久雄さん。実の母を看たい気持ちは保子さんもよくわかったので「それもそうだな」と納得しました。

### 母を介護して、良かった

割と簡単に考えていた身の回りの世話でしたが、実際にはスプーンで食事を口のそばまで運ぶと手で払い落とされたり、口に入れても吐き出されたりして、なかなか難しかったそうです。昔からしっかりしていた母親は、60歳にもなるうかという久雄さんを子供扱いし、あれこれ指図するので、うっとうしく感じることもありました。しかし、今まで苦労をかけた母親に、できるだけことはしてあげたいと思い、わがままも素直に聞いたそうです。十分にはできなかつたけれど、亡くなるまでの2年半、母の世話ができて本当によかったと久雄さんは振り返ります。現在は父母が生前に残した俳句・写真・スケッチなどを整理して、遺稿集を作っているそうです。



一方、仕事の帰りや休日など、できるかぎり義母の世話をした保子さんも、介護をする久雄さんの姿から重苦しさは感じられなかったので、安心して仕事を続けることができたと言います。

介護で大変な状況ではあったけれど、母の様子について話していると、夫婦の会話も不思議と多くなって、それまで以上に話題が広がり、お互いの考えが通じあうようになったそうです。

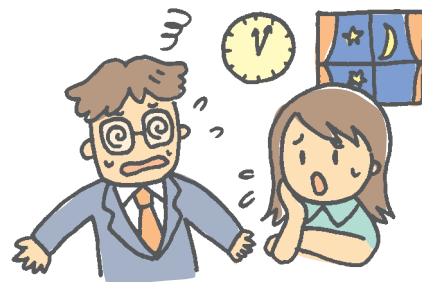


横田征也さん・横田友子さん

夫は会社で働き、妻は専業主婦をする生活から一転。転職して在宅が多くなった夫と、能力を發揮して仕事を始めた妻の心境の変化は？

### 家族一緒に食事ができる生活がしたい

仕事にはやりがいを感じていた征也さんですが、帰宅が毎日のように深夜になる長時間労働に肉体的にも精神的にも限界を感じ始め、体調を崩したこともあって、7,8年勤務したころから転職を考えるようになりました。仕事に誇りを持っていた征也さんは、長らく葛藤し、「やる時はやって、休む時は休む」とけじめをつけることで解決しようとしたのですが、妻は「そこまで無理して働かなければいけないとは、全然思っていませんでした」と言います。友子さんは専業主婦だったので、経済的な心配はありましたが、何よりも夫の体が大事なので、家族一緒に食事できて十分な睡眠もとれるようにならないものか、といつも考えていました。



### お互い生活環境も意識も変化した

その後、征也さんは経済的な不安を抱えつつも結局転職して、さらに偶然舞い込んできた仕事を足がかりに起業しました。在宅が増えたことで、家事をする時間や、子どもに関わる時間もかなり増えました。近所の人目が気になって、最初は妻に頼んでいた幼稚園の送り迎えも、進んでするようになりました。というのも、妻に頼まれてお迎えに行った時に、立ち話をしているお母さんたちを横目に娘と泥だごを作っていると、他の子どもたちが「おじちゃん、どうやったらそんなにピカピカになるの？」とやってきて、一緒に作るのが楽

## 男女の役割って決まっているものなの？

ジェンダーとは、社会的・文化的性差のことで、その対になる概念は生物学的性差です。

たとえば「子どもを産む」こと、これは女性にしかできない生物学的性差です。しかし「子どもを育てる」ことは、女の人ができるものと生物学的に決まっていることではありません。社会的にそういうふうになっている人が多いというだけのことで、つまり、私たちが、男だからこうこう、女だからこうこうと思っていることの大半は、生物学的に決まっていることではなくて、人と人とが考えていることに過ぎないのです。

人と人が決めたことなのだとしたら、人と人とが相談をして、変えていくことができるはず。男だからこうこう、女だからこうこう、ということを固定的に考える必要はありません。違うやり方だってあるんです。

(さんかくウィーク2005 瀬地山 角さんの記念講演より一部抜粋)



しくて…。今では子どもたちの間でちょっとした人気者だそうです。また、友子さんは、征也さんが苦勞していたインターネット販売のホームページのデザインにアドバイスをしているうちに興味が出てきて、絶対無理だと思っていたパソコンを勉強しました。そして今やホームページ作成の担当になっています。「料理をしているよりも、こういう仕事が案外向いていたのかも？」と友子さんは笑います。



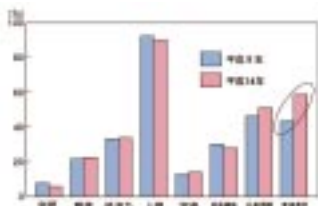
## 自分の意見を遠慮なく言い合える関係

「夫は付き合い始めた頃“俺は亭主関白タイプだから”と豪語していたんですよ!」と言う友子さん。それを聞いて征也さんも「最初はおとなしかった妻も、フタを開けたらぜんぜん違まして!」こんな調子で、お互いに思ったことをぶつけあっては、喧嘩もたくさんした二人。結婚するまで、友子さんは家庭に入って子育てをすることに疑問を持ったことがなかったそうです。しかし結婚してからはいつの頃からか「余裕があるときぐらいは掃除でも洗濯でもいいから手伝ってよ!」という言葉も出るようになっていたし、征也さんは「僕が　　だと言っても妻には×××××よ!とよく言い返されるんです。妻の意見がもっともだなと思うことも多かったので、そういう風にガンガン言ってくれて良かった」と、かつての亭主関白宣言がうそのようです。

## 今の生活がベスト

友子さんは、家事・育児を主に担っていた頃「家の事を何から何までほとんど全部しないとイケないことが、体力的にも心理的にも大きな負担になっていたし、二人の間の子どものためのから、もっと一緒に育てたいと思っていた」と言います。一方が仕事だけを、他方が家事・育児だけを全部背負ってしまうことで、その重さ、プレッシャーにお互いが「つらい」と感じてしまうことは、結構あるのではないのでしょうか?「今は仕事も家庭も二人で相談しながら、納得して進めているので、毎日が楽しく充実しています。この生活が今の私たちにとってベストかもしれません」と二人は笑顔で話してくれました。

## こんなデータがあります。



家事や育児への協力が、女性が重視する結婚相手の条件となっています。国立社会保障・人口問題研究所「第12回出生動向基本調査」によると、女性が結婚相手の条件として重視する項目として「家事・育児に対する能力や姿勢」を上げる人の割合は、前回調査より大きく向上してほぼ6割に達し、最多の「人柄」に次いでいます。

(内閣府男女共同参画局2005.7発行パンフレット「男女共同参画社会の実現を目指して」より)

結婚前の男女に限らず、夫婦円満の秘訣としても、男性の家事・育児・介護への参加は不可欠といえそうです。三高(高学歴、高収入、高身長)が理想だった頃からは、ずいぶん変わってきました!ちなみに、男性が重要視している条件も、1位、2位はそれぞれ「人柄」「家事・育児に対する能力や姿勢」となっています。

今回取り上げた3組の夫婦は、話し合ってお互いに納得のいく選択ができた満足しています。夫婦間のことに限らず、様々な問題に直面した時「男とはこういうもの、女はこうすべき」と思い込むと、知らず知らずのうちに問題解決のための選択肢を減らしてしまうかもしれません。あなたは、どう感じましたか?

# さんかくウィーク 2005

性別にかかわらず、一人ひとりの人権が尊重される“ 明るいまち ”

さんかくウィーク 6月21日～6月27日  
(プレウィーク 6月14日～6月20日)  
(フォローウィーク 6月28日～7月4日)

6/18

## 講演 妻の介護は誰がする?

/ 西川アイプラザ

会場はたくさんの人で溢れかえりました。講師の魅力たっぷりのトークにひきつけられて会場はどっと沸き、参加者が一体となった活気あふれる講演会でした。



早川 一光さん

6/11

## PRイベント

/ イルカの広場

パレードや踊り、歌、ショー、ダンスなどで道行く人の目をひき、たくさんPRしました。



## いろいろなイベント

さんかく岡山登録団体やさんかくウィーク2005実行委員会企画の、男女共同参画の視点をもちこんな様々な行事を開催しました。

6/16・24・26

映画上映会

「ヤアヤア・シスターズの聖なる秘密」  
～ 家族の希望と再生の物語～

6/19

みんなで考えよう

～ 児童虐待をふせぐために～

6/26

多様な生き方を目指して  
～ 夫婦・パートナーのしゃべり場～

6/26

いっしょに考えてみよう!  
「さんかくプラン」行政評価

6/26

今こそ伝えたい!彼女のひたむきな人間愛を  
～ 福田英子の生涯～

7/3

DV(ドメスティックバイオレンス)をのりこえるために  
～ 横浜女性フォーラム企画・制作朗読作品『ひまわり』より～

7/2

## 記念イベント

/ 市民文化ホール

記念セレモニーでは大勢の参加者を前に、市長・市議会副議長から、男女共同参画社会への熱いエールが送られました。その後、平成17年度男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰、ザ・ニューズペーパーによる男女共同参画コント、瀬地山角さんによる講演会と続きました。参加者の多数から「もっと聴きたい」「面白かった」などの意見が寄せられ、とても好評でした。

市民と行政と事業者が力を合わせて男女共同参画社会を推進していく体勢がまさに実現しようとしています・・・



杉本慧子実行委員長

## ザ・ニューズペーパー

家庭における夫婦の役割分担や、会社における男女差別の実態など、身近な男女共同参画の問題がコントで演じられ、会場からは何度も笑いが起こりました。



## 瀬地山 角さん

(東京大学助教授)

男女共同参画の問題を、堅苦しくなく馴染みやすい関西弁で、ユーモアを交えながら講演していただきました。東大助教授らしからぬ(?)面白いトークに、お客さんも笑いをこらえられない様子でした。



さんかくウィーク(岡山市男女共同参画推進週間)は、さんかく条例(岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例)の制定を記念して設けられました。今年も男女共同参画社会の実現に向け、市民のみなさんに男女共同参画社会への理解を深めていただくためのさまざまな取り組みを行いました。「自分らしさ新発見!」をキャッチフレーズに、企画の段階から、市民のみなさんと行政で構成する実行委員会が中心になり、6月21日から27日までのさんかくウィークに加えて、その前後一週間をプレウィーク・フォローウィークとして、3週間にわたり表町のさんかく岡山や市内の全公民館などで多彩なイベントを開催しました。

6/25

講演 山下さんちの物語  
~女も男も元気ハツラツ!~

/岡山ふれあいセンター

男女共同参画の物語が、小気味よいハリセンによって歯切れよく軽妙に語られ、初めて講演に触れる方々からも「新鮮だった」「面白かった」と好評でした。



室井 琴桜さん



ブラックボックス

6/20  
~22

PRパネル展示

/市役所市民ホール

真っ黒のボックスの内側には、季節感あふれる飾りつけとPR用のうちわやチラシを設置して、市役所を訪れる人にしっかりアピールしました。



公民館行事

子どもから高齢者まで多くの市民のみなさんに参加していただくために、市内34全ての公民館で、ジェンダーの視点をもりこんだ人形劇やコント、おじいちゃんやおとうさんとのクッキング、DV(ドメスティックバイオレンス)や男女共同参画に関する講演会、映画鑑賞など、それぞれ違ったテーマで地域に密着した行事を開催しました。



岡輝公民館



京山公民館



岡西公民館



山南公民館



興除公民館



岡南公民館

事業者表彰

事業者表彰では、(株)岡山スポーツ会館、両備タクシーセンターの2社に表彰状と副賞が授与されました。

両備タクシーセンター

DV被害者を支援する民間基金の活動に、以前から個人的に取り組んできた小嶋光信理事長の「会社としても協力したい。何かできることはないだろうか?」の一言から始まったDV被害者緊急一時保護連携業務。この業務は、岡山市が実施するDV被害者の緊急一時保護において、両備タクシーセンターが自らの費用で、市と連携を図りながらDV被害者を安全・確実に保護施設へ移送するものです。官民が連携する先駆的な取組であり、全国的にも高い評価を受けており、今回の受賞につながりました。



両備タクシーセンター

(株)岡山スポーツ会館

男女を問わず、社員が能力を存分に発揮する機会が確保されていることが認められ、今回の受賞となりました。同社では女性を管理職に積極的に登用しており、その割合は34.7%と高い。また、これまで育児休暇を取った女性が全員職場復帰しています。職場復帰するときには雇用契約を変更(週休日や勤務時間を変更)することもでき、「時間の融通がきき、働きやすい」と社員に好評です。「女性の力をぜひ活用したい」と江尻博子代表取締役社長。女性には「仕事を続けるには決して無理をせず、周りの理解を得よう自分から働きかけるように」また男性には「仕事だけでなく、子供ともしっかり触れあ



(株)岡山スポーツ会館 江尻博子代表取締役社長

うように」などと声をかけ、男女がともに働きやすく、家庭も大事にできるような雰囲気づくりに努めています。

# 祝 みんな、おいでよ!さんかく岡山へ!!



さんかく岡山は、男女が自立し、性別にかかわらずあらゆる分野に参画し、責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現を、市民の皆さんといっしょにめざしていく拠点施設です。



## 会議室が利用できるよ!

基本使用料

使用時間	午前10時～正午まで	午前11時～午後5時まで	午後6時～午後8時まで	午前10時～午後5時まで	午後1時～午後8時まで	午前10時～午後8時まで
会議室A	2,200円	4,400円	2,200円	6,600円	6,600円	8,800円
会議室B	2,200円	4,400円	2,200円	6,600円	6,600円	8,800円

6ヶ月前から予約できます。

冷暖房料が別途必要です。午後9時まで延長可能です。(延長料金が必要です。)ビデオプロジェクター、資料提示装置、ビデオカメラレコーダーなどの設備が利用できます。(有料)

## 託児室が利用できるよ!

子育て中のあなたも、ゆっくりセンターを利用したり商店街等で用件を済ませることが出来ます。

対象 生後3ヶ月～就学前までの子ども

託児時間 平日/10:00～19:00(火曜日・年末年始を除く)

日・祝/10:00～16:00

1回につき3時間まで

定員 おおむね20人

申込方法 「さんかく岡山」へ直接またはお電話でお申し込みください。事前のお申し込み(1週間前から受け付けます)が原則ですが、当日受付も可。

料金 1時間600円(センター利用の場合、最初の1時間は100円引き)

## あなたの悩みを相談しませんか?

### 男女共同参画相談支援センター (配偶者暴力相談支援センター)

DV(ドメスティック・バイオレンス)セクシュアル・ハラスメントや性別による差別的な取扱いに関する悩み、専門の相談員が面接相談や電話相談に応じるほか、ドメスティック・バイオレンスの被害者に対する緊急一時保護の申出も受け付けます。(相談無料・秘密厳守)

相談受付時間 平日 10:00～19:30  
(火曜日・年末年始を除く)  
日・祝 10:00～16:30

### 相談ほっとライン 086-803-3366

緊急一時保護の申出は、24時間いつでも受け付けます。

## 施設の概要



## 岡山市男女共同参画社会推進センター さんかく岡山

所在地 岡山市表町三丁目14番1-201号 アークスクエア表町2階  
TEL:803 3355 FAX:803 3344

開館時間 平日/9:30～20:00  
日・祝/9:30～17:00

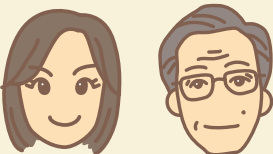
休館日 火曜日・年末年始  
(12月29日～1月3日)  
火曜日が国民の祝日にあたる場合は、火曜日は開館し、翌水曜日が休館日となります。



## DUO vol.29

### 編集後記

専業主婦の母親から「女はこうあるべき」と言われることには抵抗していた私。しかし、今年から男女共同参画の仕事に携わり、改めて自分の思考・言動を厳しくチェックすると、「結構ジェンダーにとらわれている」ということに気づきました。もっと色々な視点で学んで、より良い刺激を受けながら、編集をとおりて成長したいと思います。



K.S. 事務局 K.O.